

NEWS RELEASE

平成 20 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社フライトシステムコンサルティング
代表者の役職 代表取締役社長 片 山 圭 一 朗
氏 名
(コード番号:3753 東証マザーズ)
問 い 合 せ 先 取 締 役 松 本 隆 男
金(こん) 浩 樹
電 話 番 号 03-3440-6100 (代)

平成 20 年 3 月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

株式会社フライトシステムコンサルティング(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 片山圭一郎、以下当社)は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日~平成 20 年 3 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせ致します。

また、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせ致します。

記

1. 平成 20 年 3 月期 通期業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日~平成 20 年 3 月 31 日)

(1)個別業績

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,685	57	40	24
今 回 修 正 予 想 (B)	1,981	113	101	△530
増 減 額 (B - A)	296	56	61	△554
増 減 率 (%)	17.6	99.4	153.1	—
前 期 実 績 (平 成 19 年 3 月 期)	1,573	34	24	△53

(2)連結業績

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,400	70	40	5
今 回 修 正 予 想 (B)	3,514	24	5	△313
増 減 額 (B - A)	114	△45	△34	△318
増 減 率 (%)	3.4	—	—	—
前 期 実 績 (平 成 19 年 3 月 期)	3,071	△57	△96	△176

2. 修正の理由

(1) 個別業績

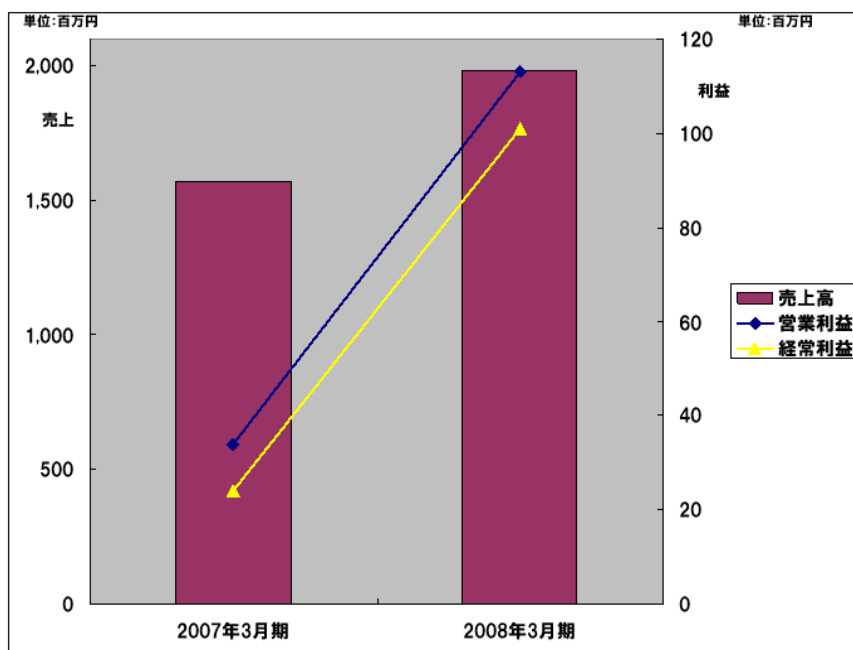
売上高は前回予想比 17.6%増の 1,981 百万円、営業利益は前回予想比 99.4%増の 113 百万円、経常利益は前回予想比 153.1%増の 101 百万円、当期純利益は下記事由により前回予想比 554 百万円減の△530 百万円となる見込みです。

前期比としては、売上高が 26.0%増、営業利益が 233.5%増、経常利益が 313.5%増と大幅に伸長したものの、当期純利益が 476 百万円の減少となる見込みです。

<前期比>

(単位：百万円)

	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	増 減	
			金額	比率(%)
売上高	1,573	1,981	408	26.0
営業利益	34	113	79	233.5
経常利益	24	101	76	313.5
当期純利益	△53	△530	△476	—



大手外食チェーンから受注した新規の大型プロジェクト等によりシステムコンサルティング事業の業績が好調に推移し、更にシステムインテグレーション事業の業績も堅調であったことから、売上高、営業利益及び経常利益につきましては前回予想値を上回る見込みです。

しかしながら、昨年7月1日に2つの子会社を経営統合(合併)して新たにスタートを切ったYEM エレテックス株式会社(以下、YEM エレテックス)の立ち上がりの遅れにより、YEM エレテックスへの投融資に対して会計的手当てを行い、下記4.に記載の特別損失 588 百万円を計上致しました。その結果、当期純利益の前回予想値を修正することとなりました。

なお、計上する特別損失は一過性のものであり、いずれもキャッシュアウトを伴わない損失であることから、営業キャッシュ・フローや資金繰りを悪化させるものではありません。

個別業績では、デジタルメディア系分野、電子自治体系分野共に大きく伸びており、十分な収益体質が整ったと考えております。

(2) 連結業績

売上高は前回予想比 3.4%増の 3,514 百万円、営業利益は前回予想比 45 百万円減の 24 百万円、経常利益は前回予想比 34 百万円減の 5 百万円と黒字を確保する見込みですが、当期純利益は前回予想比 318 百万円減の△313 百万円となる見込みです。

上記 2. (1)に記載のとおり、システムコンサルティング事業及びシステムインテグレーション事業が前回予想値を上回ったこと、並びに放送・映像システム保守事業を担う株式会社トラスティ・エンジニアリングの業績も堅調に推移していることから、連結売上高は前回予想値を上回る見通しです。しかしながら、放送・映像システム開発・製造・販売事業を担う YEM エレテックスの立ち上がりが遅れていることから、連結営業利益及び連結経常利益は前回予想値を下回る見込みとなりました。

また、YEM エレテックスは、子会社化した当初に策定した事業計画を達成することが困難な状況になったため、のれんの減損処理等、下記 4. に記載の特別損失 279 百万円を計上することとなり、当期純利益も前回予想値を下回ることとなりました。

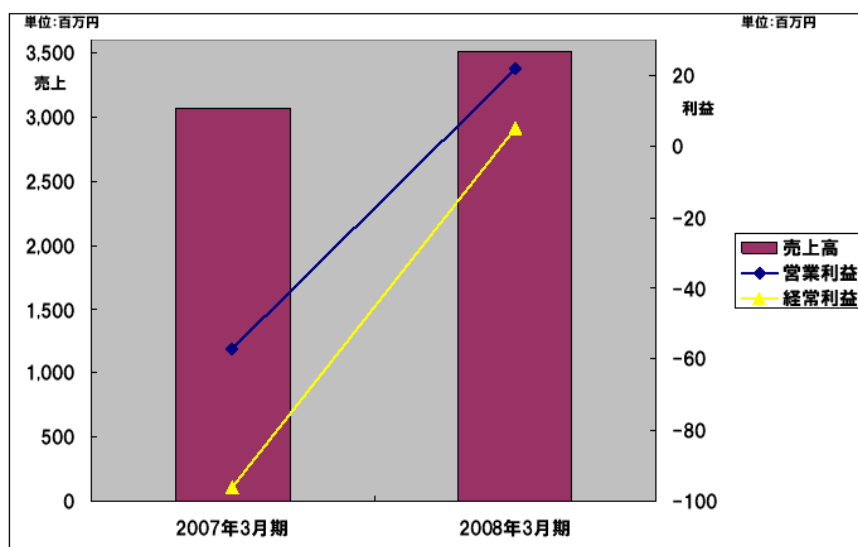
ただし、計上する特別損失は一過性のものであり、いずれもキャッシュアウトを伴わない損失であることから、営業キャッシュ・フローや資金繰りを悪化させるものではありません。

なお、前回予想比については下方修正となりましたが、前期比としては、売上が 14.4%増、経常利益が 101 百万円改善し、連結グループ経営として大きく躍進したと考えております。

<前期比>

(単位：百万円)

	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	増 減	
			金額	比率(%)
売上高	3,071	3,514	442	14.4
営業利益	△57	24	81	—
経常利益	△96	5	101	—
当期純利益	△176	△313	△136	—



3. 新年度(平成21年3月期)の業績予想について

平成21年3月期の業績予想につきましては、各事業の業績が堅調に推移する見込みであり、YEM エレテックスに係るのれん代の償却負担(平成20年3月期の償却額は47百万円)も発生しないことから、連結売上高3,600百万円(前期比2.4%増)、連結経常利益100百万円(前期比94百万円増)、個別売上高2,000百万円(前期比0.9%増)、個別経常利益100百万円(前期比1.2%減)を予想しております。

なお、当該業績予想の詳細につきましては、平成20年5月15日に発表を予定している決算短信において記載いたします。

(単位：百万円)

< 単 体 >	平成20年3月期	平成21年3月期
売 上 高	1,981	2,000
経 常 利 益	101	100

< 連 結 >	平成20年3月期	平成21年3月期
売 上 高	3,514	3,600
経 常 利 益	5	100

4. 特別損失の計上について

平成18年1月に子会社化したYEMエレテックスに関連し、下記の特別損失を計上しております。

YEMエレテックスは、放送・映像システム開発・製造・販売事業を担う会社で、当社グループの重要なセグメントの一つとして現在も積極的に事業を推進しているところですが、残念ながら、子会社化した際に策定した事業計画を達成する水準の利益を計上するに至らなかったため、会計基準に従い、下記特別損失を計上することとなりました。

なお、YEMエレテックスが担う放送・映像システム開発・製造・販売事業は、今後も引続き積極的な事業展開を行う予定であり、当該特別損失は、当該事業の運営に何ら影響を及ぼすものではありません。

(単位：百万円)

内 容	個別	連結	
関係会社株式評価損	72	—	(*1)
貸倒引当金繰入額	516	—	(*1)
減損損失			
のれん	—	223	(*2)
有形固定資産等	—	55	(*3)
特別損失 合計	588	279	

(*1) 関係会社株式評価損・貸倒引当金繰入額は、YEMエレテックス向け投融資の減損処理による損失で、貸倒引当金繰入額はYEMエレテックスの債務超過見込額を引当計上したものです。なお、関係会社株式評価損・貸倒引当金繰入額は、連結決算で消去されます。

(*2) のれんの減損損失は、YEMエレテックスに係る連結上ののれん残高を備忘価額まで評価減したことによる損失です。

(*3) 有形固定資産等の減損損失は、YEMエレテックスが保有する有形固定資産等のうち、回収可能性がないと認められた部分を減額したことによる損失です。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報をもとにした仮定を前提としておりますので、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上

株式会社フライトシステムコンサルティング

本社:東京都渋谷区恵比寿 4-6-1 恵比寿MFビル3F 電話:03-3440-6100 FAX:03-5791-2241

事業内容 : デジタルコンテンツの管理・サービスを中心としたシステムコンサルティング、ネットワークやオブジェクト指向技術に関するテクニカルコンサルティング、システム開発・構築・保守と、それらを支えるソリューションプロダクツの提供。

URL : <http://www.flight.co.jp>

【 本件に関するお問い合わせ先 】

株式会社フライトシステムコンサルティング 担当 : 松本、金
電話:03-3440-6100 FAX:03-5791-2241 e-mail : info@flight.co.jp